

ハーブだより

2022 第216号



コロナ患者さんの数が減らない。

発熱外来でひどくつらそうな若者の多くが、ワクチン未接種か、その回数が少ないか。どうか出来る限りの接種をお勧めします。

以前も書いたが、人間がインフルエンザを何とか克服できたのは、多くの犠牲者を出しつつも、くり返し感染し、予防接種をしたからだ。筋トレしてボディーブローをくり返し浴びたボクサーだからこそ、多少のパンチにも耐えられる。インフルエンザに比して、人はコロナに対して歴史上付き合いが短い。だから少なくともワクチンで耐性(免疫)を得ておかねば感染時に結構ひどい目に合う。若い人ほど年をとるまでに、コロナに感染する頻度が高い以上、可能な限りワクチン接種をした方がよい。一時的な短期間の副作用と、これからの数十年を天秤にかければ、それが結論だと思う。

さて、発熱や咳、頭痛、咽頭痛の鑑別診断のやり方がこの三年間は以前と全く異なり、まず、コロナか否かをPCRか抗原でチェック。そこからスタート。問題はコロナでない場合「よかった、よかった」で、症状が消えなくても安心してしまうこと。その後なかなか治らず、結局別の肺炎や、細菌感染症であったり重篤な疾患が隠れていたりする。外来も忙しく、じっくり患者さんと話す余裕も無く発見が遅れてしまう。感染力が増したため、コロナが完全否定できるまで、院内での検査ができない。見落としがないよう注意を払わなければならぬ。

自然感染と予防接種によって日本人の集団免疫率が増し、8月終わりをピークに、第7波は収束する予測だ。比較的低い死亡率で集団免疫を獲得しつつ、社会生活の制限を解除している日本は、政策的には他国に比して健闘しているようだが。第7波が収まっても間違いなく第8波が来襲する。残暑は酷暑より涼しい。控えてきた運動をそろそろ始めて、体力維持に努めて頂きたいと思います。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



ハーブ内科 検索
スタッフブログを毎週更新中!

発行元：医療法人ハーブ内科皮フ科 所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
株式会社ハーブライフケア TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

【くもん学習療法】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。



頭の体操は読み書き計算だけでなくスタッフと1対2のコミュニケーションの時間があり大人気です。今日は男性3人で何の話をしているのでしょうか？とても楽しそうですね。みなさんが若い頃に流行したボーリングの話だったとか。さぞかっよく投げていたのでしょうか。

さて、スコアはどうだったのでしょうか？

【回想法デイサービス】

レクリエーションでこっち来いお手玉集めゲームをしました。チーム戦で、遠い方の籠に手持ちのお手玉三個をスタートの合図でゴールに行くまでの間に投げ入れるゲームです。籠に入ったお手玉の数とゴールに先に着いた方にプラスの得点で勝敗を決める。遠い方の籠に入れるのが難しく、手前の籠に入れたり、外れたり「早く入れて、遠くの籠だよ」と職員の声も飛び交う、何度も繰り返すので、上手になり籠のお手玉の数も増えます。頭も使い、腕の筋力も使う全身運動でチーム一丸となって楽しまれていました。



【介護事務】

連日の厳しい暑さも少し和らいできました。暑くてなかなか行けていなかったウォーキングをそろそろ再開したいです

気づけば、入職して2年近く経ちました。介護事務の仕事は幅広く、初めはブランクのある私がお迷いになることなく働けるだろうか、という不安の中のスタートでした。ですが、介護事務の上司、先輩、他の部署の方々に優しくご指導していただき、今では色々な業務に携われるようになりました。

他部署、他事業所との連携が必要な業務も多いので、円滑に進むよう、スキルアップを目指しこれからも頑張っていきたいです。